



ハワイ、沖縄、フィリピンの 歴史が交錯する街

原知章
はら ともあき
静岡大学准教授

ハワイ・オアフ島のホノルル国際空港から西に向かつて一五キロほど車で走ると、ワイパフという街に到着する。この街の一角にある「ハワイ沖繩センター」と「フィリピン・コミュニティセンター」というふたつの施設を訪ねた。

砂糖が王様だったころ

ハワイの島々は、どの大陸からも遠く離れた北太平洋の中央に位置しており、世界でもっとも孤立した地域のひとつである。そのハワイに、一九世紀後半から二〇世紀前半にかけて、日本人をはじめ多くの人がびとが世界各地から移り住んだ。それは、地元の人びとの表現を借りるならば、当時「砂糖が王様だった」からだ。

戦前まで、ハワイ経済を支えていたのは砂糖産業であり、世界各地から集まった人びとがその生産に携わっていた。オアフ島にも、かつてはサトウキビの大規模な農園が広がっており、砂糖工場を中心とした街が各地に作られていた。こうした砂糖プランテーション・タウンのひとつがワイパフである。しかし、もはやこの島で砂糖プランテーションの姿を見ることができない。ただ、ワイパフの街には、かつての砂糖工場の煙突が今なお空高くそびえており、砂糖が王様だったころの面影を残している。

ハワイ最大のエスニック・フェスティバル

太平洋戦争が始まる直前のハワイでは、人口の四割を日系人が占めていた。沖縄は、多くのハワイ移民を輩出した地域のひとつであり、戦前のワイパフにも、大勢の沖縄系の人びとが暮らしていた。

同地に、ハワイ沖繩センターが建てられたのは一九九〇年のことである。沖繩式の赤瓦を戴いたふたつの建物と美しい庭園からなるハワイ沖繩センターには、沖繩県人会に相当する「ハワイ沖繩連合会」という団体の事務局がある。事務局にはスタッフが常駐しており、沖縄の歴史・文化や移民などに関する書籍や展示物が並んでいる。サンシン（三線）やウチナーグチ（沖繩語）の教室も開かれている。ハワイ沖繩連合会の主催によって、毎年九月ごろにワイキキのカピオラニ公園で開催されるオキナワン・フェスティバルには、二日間の会期中に六万人もの人びとが訪れ、現在ではハワイ最大のエスニック・フェスティバルといわれている。

成長するフィリピン系コミュニティ

ハワイでは、オキナワン・フェスティバル以外にも、さまざまなエスニック・フェスティバルを見ることができ、そのひとつがフィリピン・フィエスタである。会場はオキナワン・フェスティバルと同じカピオラニ公園である。こちらは、フィリピン・コミュニティセンターの主催により、毎年五月に開催されている。そのセンターの事務局は、ハワイ沖繩センターから五キロほど離れた距離に位置する、瀟洒なコロニアル建築が目を引き真新しい建物のなかにある。ここでも「バンダ・カワヤン」とよばれる竹を使った伝統楽器の合奏の教室などが開かれている。二〇世紀初頭から始まったフィリピンからハワイへの移民の流れは、現在もお続いている。多様な人種・民族的背景をもつ人びとが暮らし、「どのグループもマイノリティ」といわれるハワイにおいて、フィリピン系の人びとは、大きな勢力となりつつある。今日、ワイパフの街でもっともよく見かけるのもフィリピン系の人びとである。沖縄系の人びとはじめ日系人の多くは、戦後、社会経済的地位の向上をとげ、プランテーション・タウンから郊外の新興住宅地へと移り住んでいった。その後も、かつてプランテーション・タウンがあった場所にとどまり、あるいはニューカマーとして多くやってきたのが、フィリピン系の人びとだった。

故郷を想い、ハワイを想う

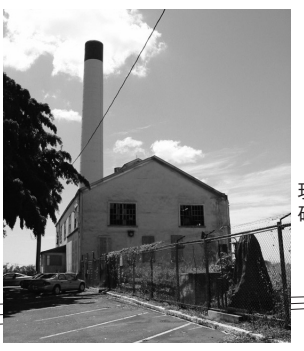
ハワイ、沖縄、フィリピン——この三つの地域には、単に南国の島々というだけではなく、モノカルチャー的な熱帯農業が基幹産業になったこと、大規模な戦争の舞台になったこと、そしてアメリカの統治下におかれたことなど、さまざまな共通点を見出すことができる。ワイパフは、この三つの地域の歴史が交錯する街であり、変わりゆくハワイ社会の姿の一端を鮮やかに映し出している街でもある。この街で、沖縄やフィリピンの文化を継承しようとする人びとの営みには、遠く離れた故郷への想い、砂糖プランテーションで懸命に働いた祖父母たちへの想い、そして、多様なエスニック集団と文化が共存するハワイへの想いが重なり合っている。



オキナワン・フェスティバルではさまざまな団体が音楽・舞踊、あるいは空手の演武などのパフォーマンスを繰り広げる



フィリピン・フィエスタの会場には、軽食や飲み物を買うことができるブースが立ち並び、大勢の人でにぎわう



現在もワイパフの街に残る砂糖工場跡



ハワイ沖繩センターの建物のひとつ。沖縄に関連するさまざまなイベントやパーティが開催される



瀟洒なコロニアル建築が目を引きフィリピン・コミュニティセンター

建物のなかには、フィリピンからハワイへの移民が始まってから100周年を記念した際のパネルが並んでいた

